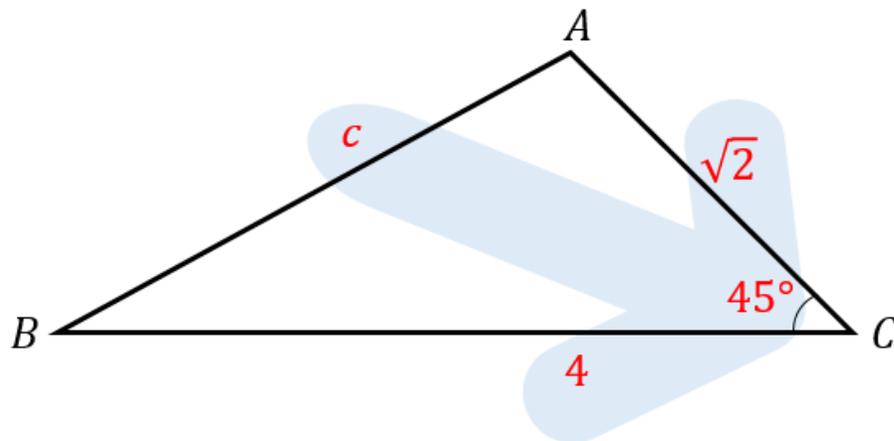
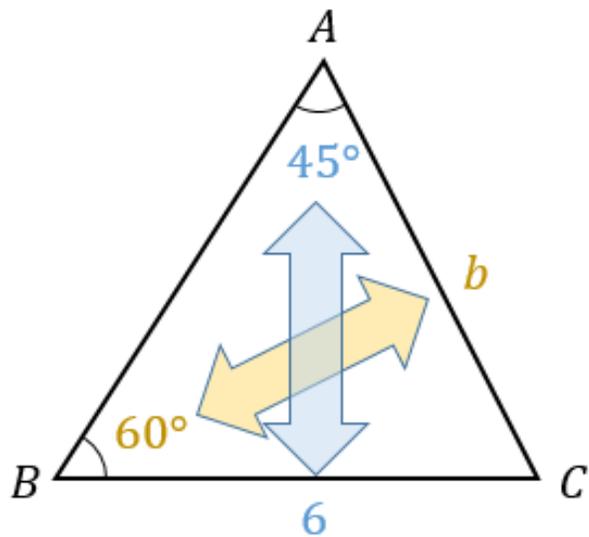


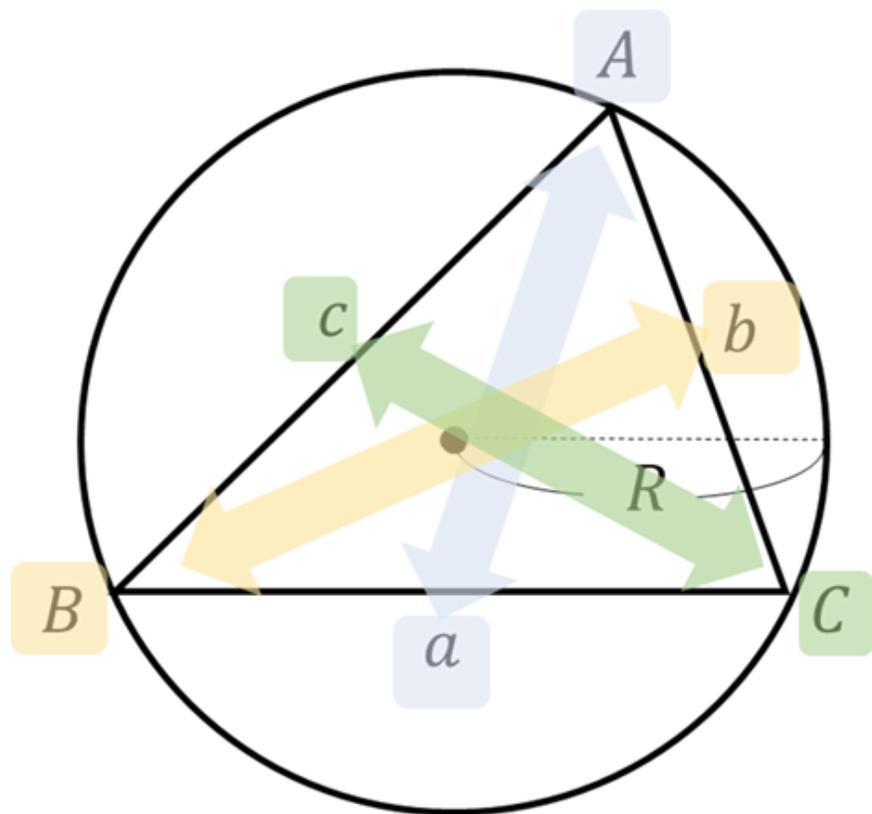
正弦定理と余弦定理どっちでしょう??

正弦定理と余弦定理

どっちを使うのかパッと見でわかりません



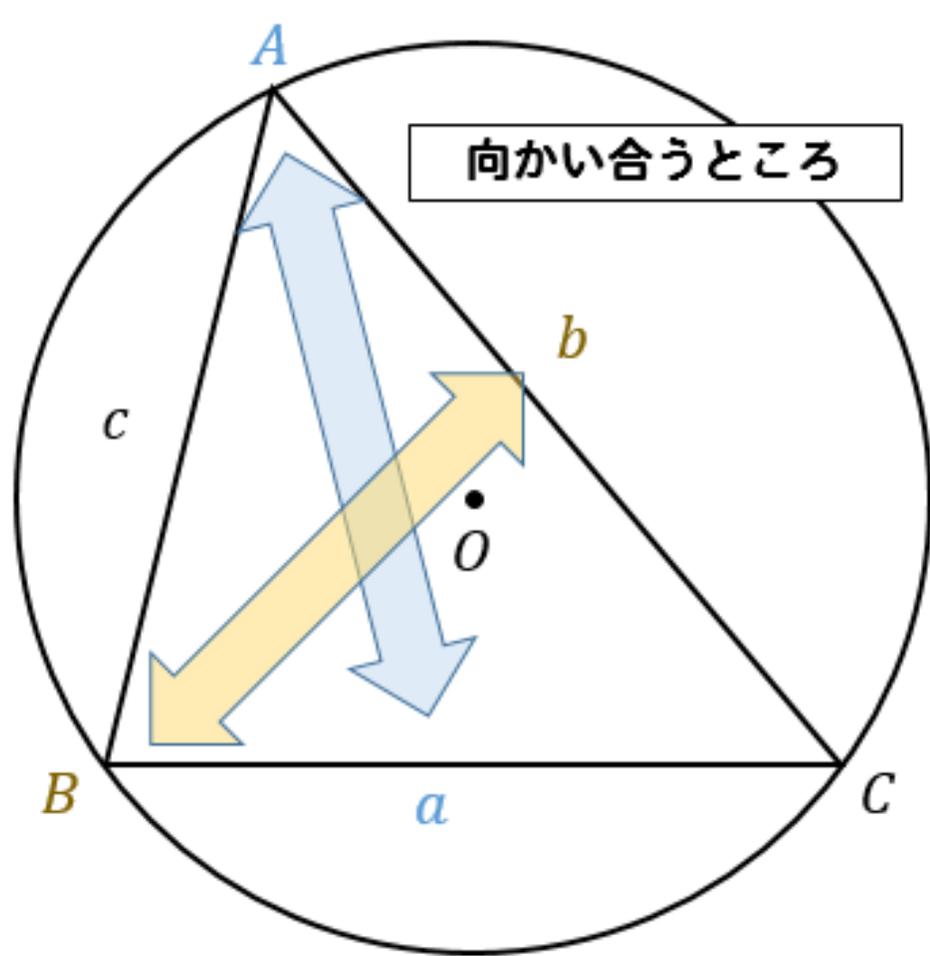
正弦定理の使いどころ！



《正弦定理》

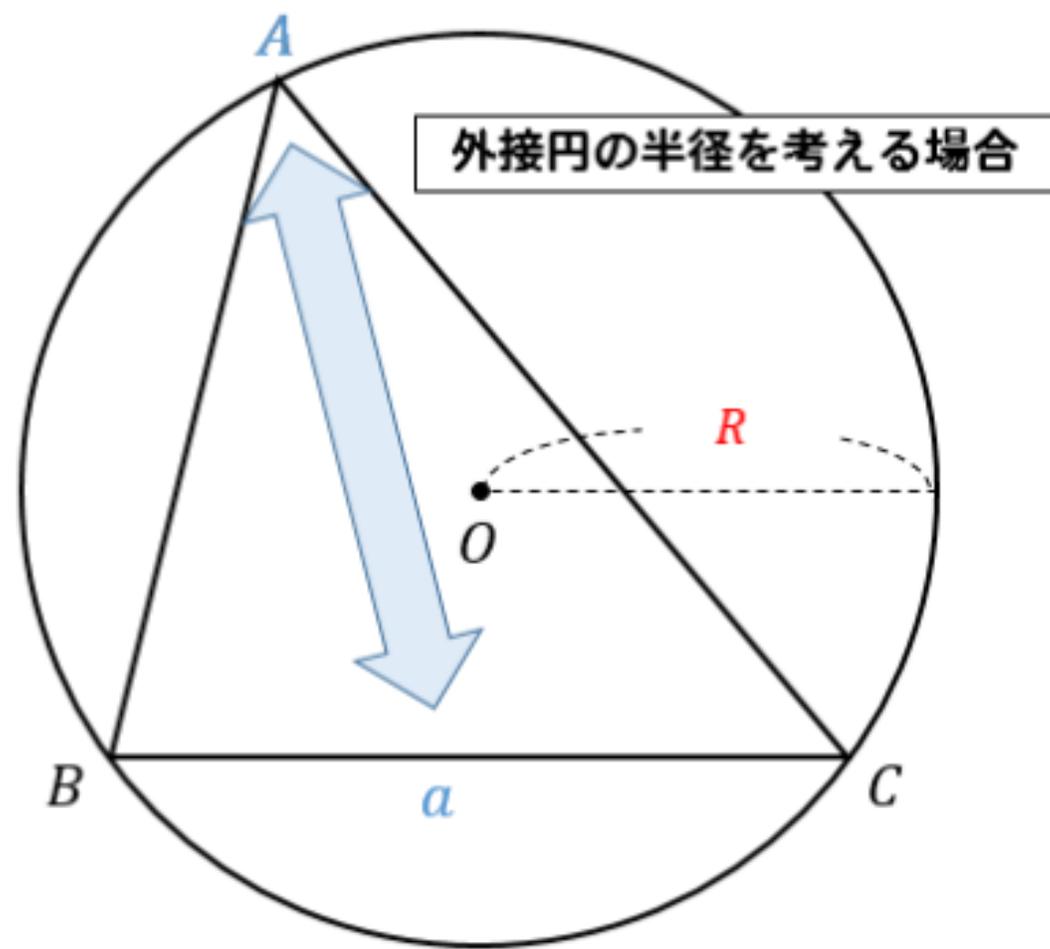
$$\frac{a}{\sin A} = \frac{b}{\sin B} = \frac{c}{\sin C} = 2R$$

向かい合う辺と角
外接円の半径について考えるときには
正弦定理を使うといいよ！



正弦定理

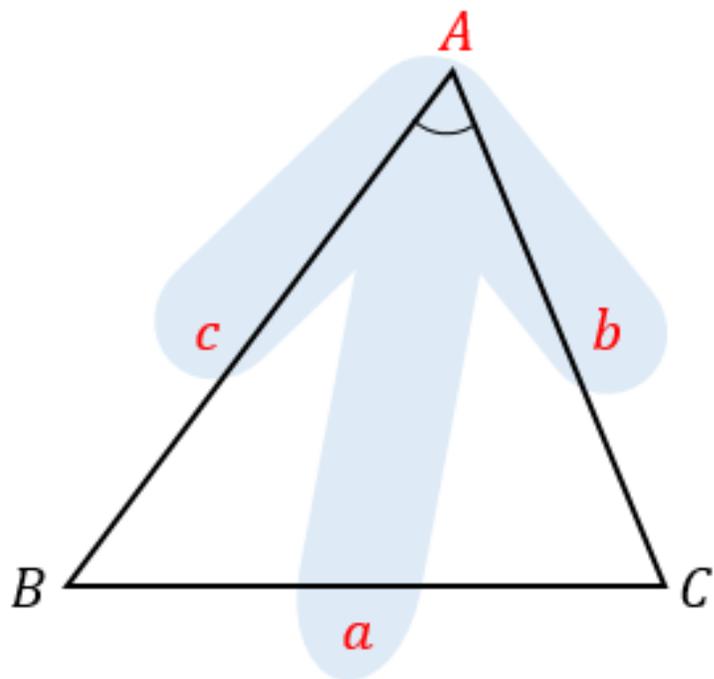
$$\frac{a}{\sin A} = \frac{b}{\sin B}$$



正弦定理

$$\frac{a}{\sin A} = 2R$$

余弦定理の使いどころ！



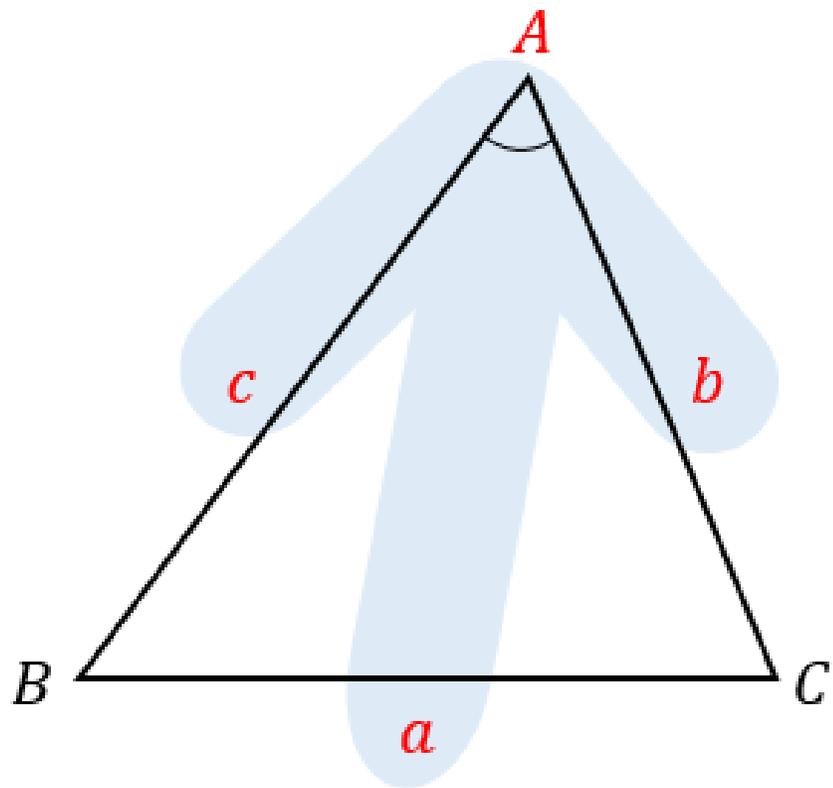
《余弦定理》

$$a^2 = b^2 + c^2 - 2bc \cdot \cos A$$

$$b^2 = a^2 + c^2 - 2ac \cdot \cos B$$

$$c^2 = a^2 + b^2 - 2ab \cdot \cos C$$

わかっている値, 求めたい値を図に書き込んでみたとき
下の図のように矢印型になっているときには余弦定理を使う!



余弦定理

$$a^2 = b^2 + c^2 - 2bc \cos A$$

$a = 2, b = \sqrt{6}, B = 60^\circ$ のとき, c

$a = 3, b = \sqrt{3}, A = 60^\circ$ のとき, B

$A = 135^\circ, a = 7$ のとき,
外接円の半径 R

$a = 3, b = 5, c = 7$ のとき, C